

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

海邊 健二

かいべ けんじ

研究者基本情報

最終学歴	東京大学大学院新領域創成科学研究科博士後期課程修了
取得学位	博士(環境学)
学位取得年月	平成30(2018)年6月
出身地	大阪府
専門分野	環境学(エネルギー科学・森林科学・環境経済学)、経済地理学、科学技術政策
担当科目	(学部)エネルギーと環境、循環型社会の基本構造、経済地理学、地域活性化論、農業経済論、六次産業化論、専門演習 他 (大学院)六次産業化特論、演習 他
所属学会	日本エネルギー学会、日本木材学会、日本森林学会、経済地理学会、環境経済・政策学会 他
長期研究テーマ	地域資源の利活用と地域活性化に関する研究
短期研究テーマ	木質バイオマス資源の有効利用拡大に向けた環境影響評価と技術経済性評価
1年以内に発表予定の研究業績	—

研究業績 (2026年3月末日現在)

【論文】

1	「琉球弧における種子植物の地域的分化～特にスダジイ群とアジサイ属について～」(単), 『修士論文(京都大学)』, 2003年3月
2	「木材チップの製造プロセス評価～製造コスト, エネルギー収支及び二酸化炭素排出量の評価～」(共), 『森林バイオマス利用学会誌』, 第9巻第2号, 2014年12月, 49-56頁
3	「木質バイオマスの生産コスト構造とその低減策」(共), 『日本森林学会誌』, 第99巻第5号, 2017年10月, 187-194頁
4	「木質バイオマス資源有効活用に向けたプロセス技術の評価と技術シナリオの提案」(単), 『博士論文(東京大学)』, 2018年6月
5	「木質バイオマスのエネルギー利用拡大に向けた技術評価～コストモデルの構築と技術シナリオの策定～」(共), 『日本エネルギー学会誌』, 第97巻第10号, 2018年10月, 284-299頁
6	“Techno-Economic Evaluation of BECCS via Chemical Looping Combustion of Japanese Woody Biomass”(共), International Journal of Greenhouse Gas Control, Vol.83, April 2019, pp.69-82

7	「木質バイオマス資源の利用拡大に向けた地産地消モデルと技術シナリオ」(単), アグリバイオ, 第5巻第8号, 2021年7月, 61-64頁
8	“Feasible conditions for Japanese woody biomass utilization”(共), Environmental Science and Pollution Research, Vol.28, May 2021, pp.51060-51071
9	「森林資源のエネルギー利用の特徴－山形県のバイオマス発電を事例として－」(単), 法政地理, 第54巻, 2022年3月, 15-26頁
10	“New concept of the affinity between research fields using academic journal data in Scopus”(共), Scientometrics, Vol.128, May 2023, pp.3507-3534
11	「花巻の農業の特徴と大学の地域貢献について」(単), 富士大学附属地域経済文化研究所研究年報, 第27巻, 2024年12月, 19-27頁
12	「木質バイオマス発電の技術改善によるコスト低減と炭素価格の評価」(共), イノベーション・マネジメント, 第22巻, 2025年3月, 1-23頁
13	「岩手県花巻市東和町における山村資源利用に関する地域住民と訪問者の意識差異に関する研究」(単), 富士大学附属地域経済文化研究所研究年報, 28, 2025年12月, pp.49-61
14	“Economic analysis of the sustainable forest circulation system through slash-and-burn in Atsumi, Yamagata Pref., Japan”(単), Pan-Pacific Management Science, Vol.8, Jan. 2026, pp.33-38
15	「北海道浜中町における地域住民と訪問者の環境意識及び支払い意思額に関する研究(共), 富士大学紀要, 第58巻, 2026年3月, 39-45頁
16	「木質バイオマスの小規模熱利用に関する研究-岩手県を事例として-」(共), 富士大学紀要, 第58巻, 2026年3月, pp.31-38

【その他の執筆】

1	「デジタル教材の授業活用に向けて－制作者の視点から－」(共), 生物教育, 第48巻, 2008年4月, 1-3頁
2	低炭素社会の実現に向けた技術および経済・社会の定量的シナリオに基づくイノベーション政策立案のための提案書技術開発編, 「林業の活性化を通じた地域における低炭素社会の実現－木材チップなどの製造コスト検討－」(共), 国立研究開発法人科学技術振興機構 低炭素社会戦略センター, 2015年3月, 1-7頁
3	研究力分析に挑む 研究力分析タスクフォース事例集 「学術雑誌データを用いた「分野間親和性」の検討」(共), 研究大学コンソーシアム 研究力分析の課題に関するタスクフォース, 2022年4月, 71-72頁
4	研究力分析に挑む 研究力分析タスクフォース事例集 「プレスリリースと論文被引用数の関係性の分析を行う方法論の検討」(共), 研究大学コンソーシアム 研究力分析の課題に関するタスクフォース, 2022年4月, 72-73頁
5	「最近の環境問題と社会の動き」(共), 富士大学学術研究会報, 第105巻, 2025年3月, 1-6頁
6	「地域への愛着を醸成する要因分析－岩手県花巻市を事例として－」(単), 富士大学学術研究会報, 第105巻, 2025年3月, 27-36頁

7	「花巻地域 産業状況調査2025年第1回(2025年1月～3月・4～6月予想と実績)」,富士大学 附属地域経済文化研究所年報 28(抜刷), 1-39(2025)
---	--

【学会発表(口頭発表)】

1	「中国四川省における耕地生産力の評価 第2報 起源別窒素吸収と穎花生産」(共), 第212回日本作物学会講演会, 2001年9月
2	「複数の植物群に基づくトカラ海峡での分断の再検討: トカラ海峡は閉じていたか?」(共), 日本植物分類学会第3回大会, 2004年3月
3	「成熟度モデルを用いた理科教員支援Social Networking Serviceの提案」(共), 第53回システム制御情報学会研究発表講演会, 577, 2009年5月
4	「木材チップ製造工程のコストおよび環境影響評価」(共), 日本木材学会北海道支部 平成26年度(第46回)研究発表会, 2014年11月
5	「木質バイオマスのエネルギー利用プロセスの構築と地産地消モデルの提案」(共), 第66回日本木材学会大会, 2016年3月
6	"Technological, Economic, and Environmental Assessment of Chemical Looping System with Woody Biomass", (共), the 4th International Conference on Chemical Looping, Nanjing China, Sep. 2016
7	「木質バイオマスを燃料とするバイオマス発電の技術革新及び経済性評価」(共), 化学工学会第82年会, 2017年3月
8	"Techno-Economic Evaluation of BECCS via Chemical Looping Combustion of Woody Biomass in Japan - Costs, Challenges and Opportunities"(共), International Conference on Negative CO ₂ Emissions, 2018, Göteborg Sweden, May 2018
9	"TECHNO-ECONOMIC ANALYSIS OF CHEMICAL LOOPING COMBUSTION WITH WOODY BIOMASS", (共), the 5th International Conference on Chemical Looping, Park City, USA, Sep. 2018
10	「化学ループ法を用いたバイオマス発電の経済性評価と普及の可能性」(共), 第14回バイオマス科学会議, 2019年1月
11	"Comparison of Thermal Use and Power Generation of Woody Biomass", (共), 7th Asian Conference on Biomass Science, Koriyama, Japan, Sep. 2019
12	「木質バイオマスの利用拡大に向けた技術評価-バイオマス生産の観点から-」(共), 第15回バイオマス科学会議, 2019年12月
13	「木質バイオマス発電所の最適立地に関する検討-山形県を事例として-」(共), 第131回日本森林学会大会, 2020年3月
14	「木質バイオマス生産からエネルギー利用までの要素連関性について～コストの観点から～」(共), 第29回日本エネルギー学会大会, 2020年8月
15	「再造林の促進に向けた取り組みとその効果について～山形県鶴岡市を事例として～」(共), 第16回バイオマス科学会議, 2021年1月
16	「学術研究における分野親和性を測る新たな指標の開発」(共), 第70回数理社会学会, 2021年3月

17	「森林資源の利活用と地域活性化に関する研究—山形県鶴岡市を事例として」(単), 日本地理学会2021年春季学術大会, 2021年3月
18	「森林資源の利活用に関する地域特性—東北地方におけるエネルギー利用を事例として—」(単), 法政大学地理学会2021年度, 2021年5月
19	「市区町村を単位とする森林資源の輸送単価」(共), 第30回日本エネルギー学会大会, 2021年8月
20	「山林管理放棄地の利活用に向けた課題」(共), 第30回日本エネルギー学会大会, 2021年8月
21	「東北地方における森林資源量とエネルギー需給の地域特性に関する研究」(単), 日本地理学会2021年秋季学術大会, 2021年9月
22	「森林資源の現状分析と地域特性—東北地方を事例として—」(単), 第17回バイオマス科学会議, 2022年1月
23	木質バイオマス発電における環境影響評価と経済性評価」(共), 第72回日本木材学会大会, 2022年3月
24	森林資源の利活用の変遷と地域特性に関する研究～東北地方を事例として～」(単), 日本地理学会2022年春季学術大会, 2022年3月
25	「森林資源のエネルギー利用の特徴—栃木県北地域の熱利用を事例として—」(単), 法政大学地理学会2022年度, 2022年5月
26	「焼畑の火入れによる土壌の化学性の変化について 山形県鶴岡市温海地区のカブの事例」(共), 2022年度日本土壌肥料学会東北支部大会, 2022年7月
27	「山形県における人口動態を加味した下水汚泥からのバイオガス発電の評価」(共), 第31回日本エネルギー学会大会, 2022年8月
28	「休眠林地で育成するヤナギを燃料とする電力単価とCO ₂ 排出量削減単価」(共), 第31回日本エネルギー学会大会, 2022年8月
29	「森林資源を用いた地域活性化の取り組みに関する研究—栃木県を事例として」(単), 日本地理学会2022年秋季大会, 2022年9月
30	「東北地方における森林資源量と利活用の変遷から見た林業・木材産業の地域特性と利用拡大に向けた課題」(単), 経済地理学会北東支部3月例会, 2023年3月
31	「森林資源を用いた地域活性化の取り組みに関する研究～栃木県を事例として～」(共), 第73回日本木材学会大会, 2023年3月
32	「持続可能な林業と地域の低炭素化に向けた取り組みに関する研究—栃木県を事例として—」(共), 第19回バイオマス科学会議, 2023年1月
33	「人口動態が下水汚泥処理システムに及ぼす影響」(共), 第19回バイオマス科学会議, 2023年12月
34	「山形県鶴岡市における焼畑を通じた持続的な森林づくりについて—経済性と地域活性化の観点から—」(単), 経済地理学会北東支部11月例会, 2024年11月
35	「岩手県花巻市における木質バイオマスを用いた地域内エコシステムの構築と実証」(共), 第20回バイオマス科学会議, 2024年12月

36	「木質バイオマスの小規模熱利用における技術経済性評価と普及に向けた課題-岩手県を事例として-」(共),第34回日本エネルギー学会大会, 2025年8月
----	---

【教職歴】

1	大阪府立食品産業高校 非常勤講師, 2001年度
2	東京工業大学 特別研究員, 2021年度～
3	愛知東邦大学 非常勤講師, 2023年度～
4	西武文理大学 非常勤講師, 2024年度

【内外における公開講座等の講師】

1	東京都千代田区立千代田図書館 情報探索講習会 WEBで見る 理科の実験, 科学の理論 ～子どもと話したい「科学技術」の楽しさ～, 2009年8月
2	新潟大学 シンポジウム&ワークショップ 第2回理科好きな子どもを育てる, 伸ばすには～地域・家庭・学校のネットワークを目指して～, 2010年2月
3	THE 8th MEETING OF THE UK-JAPAN JOINT COMMITTEE ON CO-OPERATION IN SCIENCE AND TECHNOLOGY, “The Green Innovation Policy and Efforts of MEXT”, THE UK-JAPAN JOINT COMMITTEE ON CO-OPERATION IN SCIENCE AND TECHNOLOGY, UK・London, November 2011
4	神奈川県資料室研究会2018年1月例会, 電子ジャーナルプラットフォームJ-STAGEの紹介, 神奈川県資料室研究会, 2018年1月
5	2017 International Conference on Integrated Development of Digital Publishing and Digital Libraries, “Overview of Japan Science and Technology Agency Database”, CNKI, China・Taiyuan, September 2018
6	第21回産学連携学会, オーガナイズドセッション「地域貢献を担う大学における産学連携の在り方—誰のために、何のために」パネリスト, 産学連携学会, 2023年6月
7	岩手県立岩屋堂高等学校 高大接続出前授業 講師, 2024年9月
8	花巻市・富士大学附属地域経済文化研究所主催 令和6年度「富士大学花巻市民セミナー」講師, 2024年9月
9	いわて高等教育コンソーシアム主催 令和6年度高大連携「ウィンター・セッション」講師, 2024年12月
10	花巻市・富士大学附属地域経済文化研究所主催 「富士大学花巻市民セミナー40周年記念講演」講師, 2025年2月
11	北上市・富士大学附属地域経済文化研究所主催 「富士大学北上市民セミナー」講師, 2025年9月
12	花巻市・富士大学附属地域経済文化研究所主催 令和7年度「富士大学花巻市民セミナー」講師, 2025年10月
13	いわて高等教育コンソーシアム主催 令和7年度高大連携「ウィンター・セッション」講師, 2025年12月
14	岩手県立遠野緑峰高等学校 高大接続出前授業 講師, 2026年2月
15	東京都立産業技術大学院大学主催 行動科学から考える「よく生きる」社会のデザインシンポジウム 基調講演, 2026年2月

【社会的活動】

1	大学技術移転協議会ネットワーク委員(2024年2月～現在)
2	岩手県北上市きたかみエコネットワーク推進会議 委員(2025年4月～現在)
3	岩手県立花巻農業高等学校 学校運営協議会 委員長(2024年2月～現在)
4	岩手県建築審査会 委員(2025年6月～現在)
5	岩手県花巻市・花巻市史編纂委員会現代部会 委員(2026年2月～)

【受賞歴】

1	森林バイオマス利用学会 2014年度論文賞
2	2019年度エスペック環境研究奨励賞
3	法政地理学会 2022年度地理学研究奨励賞
4	日本エネルギー学会 第19回バイオマス科学会議ポスター賞(優秀賞)
5	岩手県農林水産部政策提案型調査コンテストWild Cup 2025 特別賞